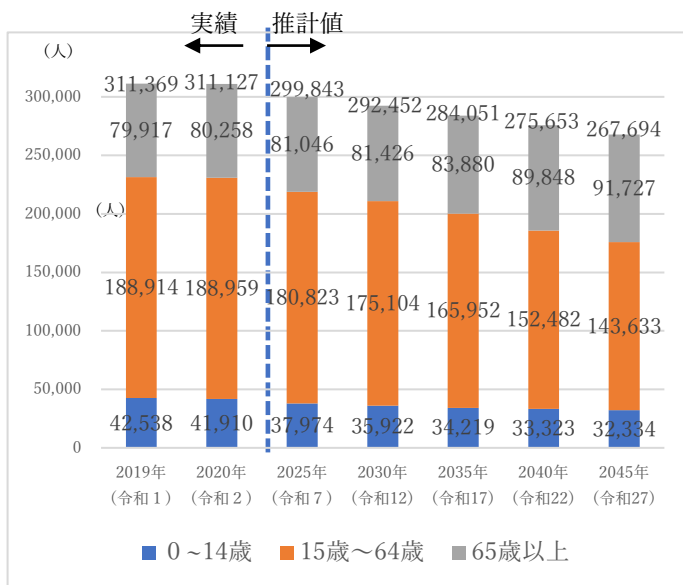


春日井市の現状について

1 人口の状況

- 本市の人口推計は、令和7年には、30万人を下回り、それ以降も引き続き、減少傾向が続くことが予測されます。また、全体として人口は減少するものの、65歳以上は増加、15歳～64歳は大幅に減少、14歳以下は微減です。(図表1)
- 高齢化率は、全国を下回っているが、令和17年以降は全国や愛知県に比べ高齢化率の伸びが顕著で、急速に高齢化が進行すると予測されます。(図表2)

【図表1】年齢3区分別の人口推計

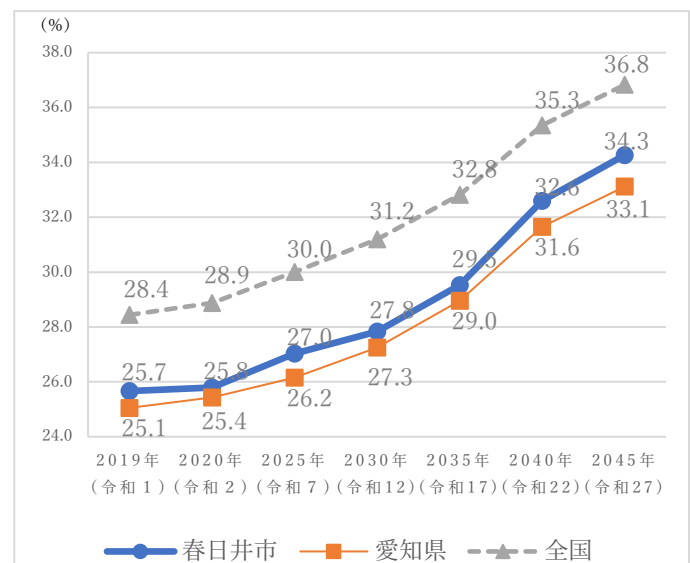


資料：

～2020年 春日井市住民基本台帳（各年10月1日現在）

2025年～「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）

【図表2】高齢化率の推移



資料：【春日井市】～2020年春日井市住民基本台帳（各年10月1日現在）

2025年～「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」

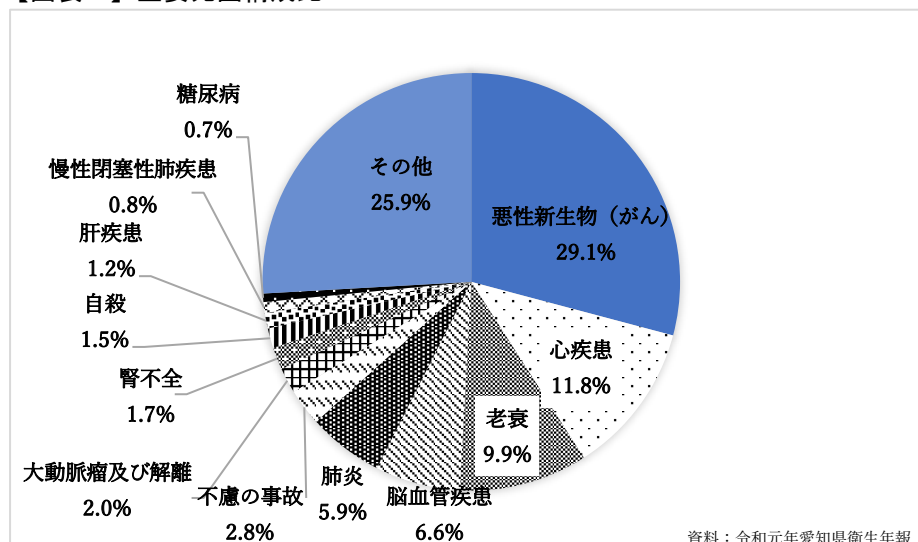
【愛知県及び全国】2019年「人口推計」（総務省統計局）

2020年～「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」

2 死亡の状況

- 死因は、「悪性新生物（がん）」が最も高く、「心疾患」、「脳血管疾患」を含めると約5割が生活習慣病となっています。(図表3)
- 中間改定時点と比較しても、死因構成比に大きな差はありませんが、肺炎の比率（10.0%→5.9%）が大きく減ってるのが特徴です。(図表3)

【図表3】主要死因構成比

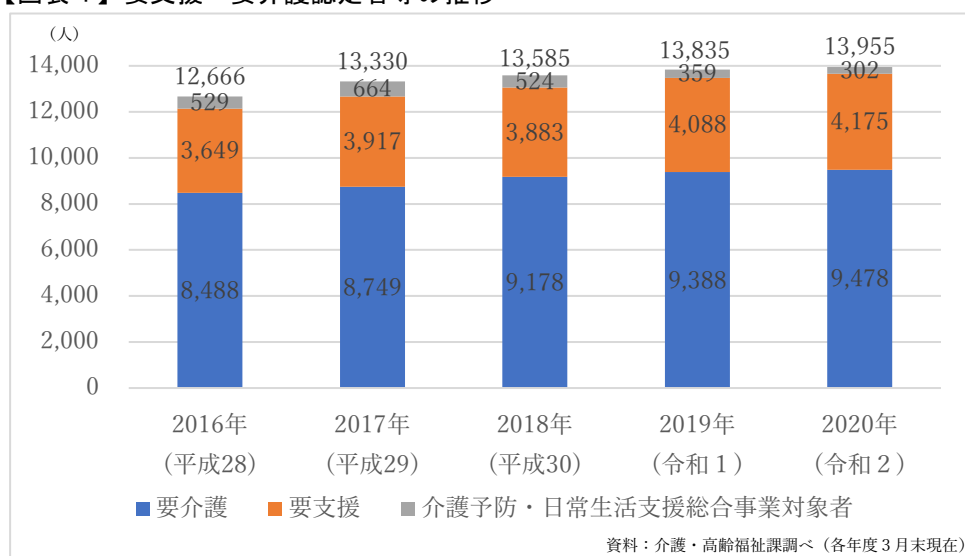


資料：令和元年愛知県衛生年報

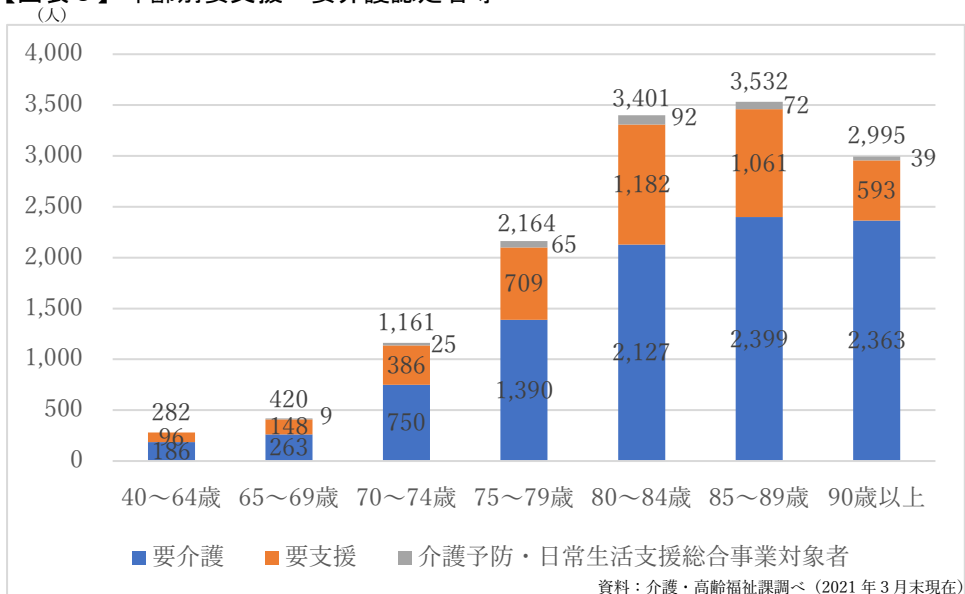
3 要支援・要介護認定等の状況

- 要支援・要介護認定者数等は、高齢化に伴い増加傾向にあります。(図表4)
- 年齢別にみると、介護を必要とする人は70歳代後半から急増しはじめ、80歳代後半で最も多くなっています。(図表5)
- 79歳以下については、いずれも中間改定時点と比較して、認定者数が減少する一方で、80歳以上については増加しています。(図表5)

【図表4】要支援・要介護認定者等の推移



【図表5】年齢別要支援・要介護認定者等

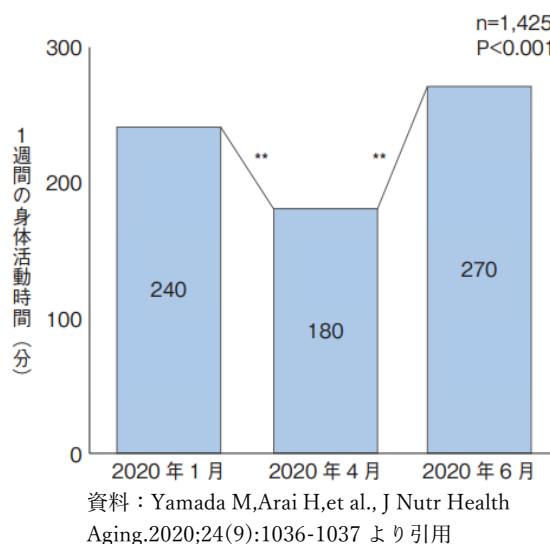


4 新型コロナウイルス感染症の影響について

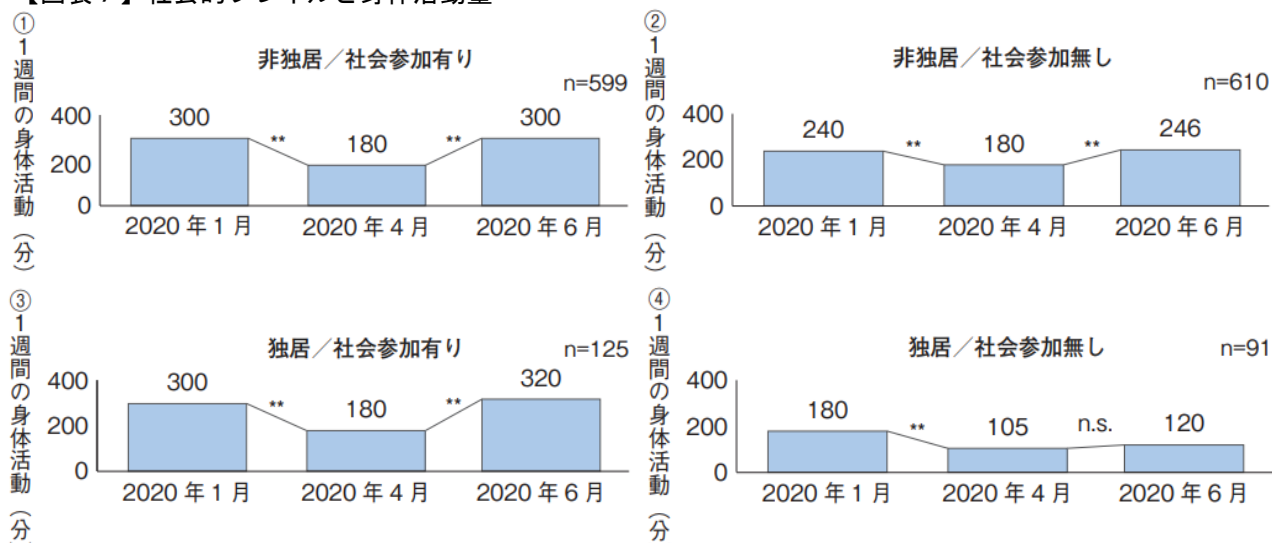
【全国の状況】

- 新型コロナウイルス感染症が広がる中、自粛生活が長期化することで、活動機会を著しく制限され、緊急事態宣言中には全世代で身体活動量が減少したと考えられます。
- 特に、新型コロナウイルス感染症の感染が確認されるようになった初期から、基礎疾患を有する高齢者では重篤化しやすいことが報道され、高齢者の活動は著しく制限されることとなった。¹⁾
- 1回目の緊急事態宣言中に3割もの減少が認められた高齢者の身体活動であるが、6月下旬には元の水準にまで回復(図表6)、活動量の低下が長期化するという深刻な事態からは脱出することはできた。しかし、すべての高齢者でこのような回復が得られたわけではない。独居で近隣住民との交流が少ない方、つまり社会的フレイルの方では1回目の緊急事態宣言解除後も身体活動が十分に回復できていなかった(図表7)。¹⁾
- 社会的フレイルがあり、かつ身体活動量が長期にわたって低下することは、要介護などの有害健康転帰の発生を高めることにつながる。¹⁾
- コロナ感染症が社会に及ぼした影響としては経済的活動に係るものが目立ちますが、外出の自粛により人々の身体活動の機会が減少した結果、筋肉量の低下や基礎疾患の悪化、認知機能の低下等の「健康二次被害」も懸念されています。²⁾

【図表6】緊急事態宣言中の身体活動量



【図表 7】社会的フレイルと身体活動量



資料：Yamada M, Arai H, et al., J Nutr Health Aging. 2020;24(9):1036-1037 より引用

- 1) 筑波大学人間系教授 山田実「COVID-19による高齢者の活動への影響と社会参加」『Aging&Health (No.97 2021年春号)』
- 2) スポーツ庁「With コロナ時代に高齢者の健康二次被害をスポーツや社会参加で予防するために」

【春日井市の状況】

- 本市の状況をみると、別紙「かすがい健康計画 2023【改訂版】施策の実施状況」に記載のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響で事業の中止や休止期間の発生等で健康づくりの機会そのものが減少しました。
- 【図表 4】要支援・要介護認定者等の推移では、新型コロナウイルス感染症の影響による身体機能の低下は現時点では確認できないものの、各種講座への参加者数は軒並み減少しており、生活不活発及び社会性の低下は一部認められます。(図表 8)

【図表 8】各種講座の参加者数

		2018 年 (平成 30)	2019 年 (令和 1)	2020 年 (令和 2)
女性のための ヘルスアップ講座	実施回数 (回)	8	7	3 (5 回中止)
	参加者数 (人)	189	144	22
市民健康づくり 講座	実施回数 (回)	5	4	4 (1 回中止)
	参加者数 (人)	357	360	248
出前講座	実施回数 (回)	39	35	26 (23 回中止)
	参加者数 (人)	1,086	1,095	676
お気軽運動教室	実施回数 (回)	93	80 (9 回中止)	58 (36 回中止)
	参加者数 (人)	3,339	3,444	749

資料：健康増進課調べ（2021 年 3 月末現在）